

講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名		飯嶋美智江		
講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。								
【授業を通じての到達目標】									
<p>国家試験合格ラインに到達する知識を身につける。 国家試験の過去問題を理解し、解けるようになり、受験への準備を整える。 国家試験に向けた出題傾向と過去問対策を中心に、幅広い展開の授業で合格レベルの知識と応用力を身につける。</p>									
【学習内容】									
美容技術における専門的分野の専門用語・技術や道具などの解説、受験対策として4択問題を中心に読解力と応用力を高める。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論の教科書・筆記用具・ノート・授業で配布したプリントワークブック					教科書の写真・図の理解を深める。ワークブックと過去問題対策				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/15)	<p>【到達目標】受験まで5か月の受講意識を高める。</p> <p><教科書①・定期試験フィードバック> 各自の弱点・理解できていない項目を自覚する。</p>				⑨ (11/17)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書①・ワークブック(1)受験対策> 人体各部名称・作業姿勢・美容用具の応用力を高める。</p>			
② (9/29)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・エステティック> 肌質のタイプ・基本手技・フェイシャルケアとパックなど国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑩ (11/24)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書①・ワークブック(2)受験対策> シャンプー・ヘアカッティングの応用力を高める。</p>			
③ (10/6)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・ネイル技術(1)> 種類・爪の構造と機能・名称・爪の形状・道具など国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑪ (12/2)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書①・ワークブック(3)受験対策> ヘアセッティングとヘアデザインの応用力を高める。</p>			
④ (10/13)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・ネイル技術(2)> マニキュア技術手順・アーティフィシャルネイルの道具・チップ・ジェル・リベアの違いなど国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑫ (12/8)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書①・ワークブック(4)受験対策> パーマメントウェーブとヘアカラーリングの応用力を高める。</p>			
⑤ (10/20)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・メイクアップ(1)> 色彩・スキンケアからリップメイクアップまでの手順など国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑬ (12/15)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・ワークブック(5)受験対策> エステティック・メイクアップの応用力を高める。</p>			
⑥ (10/27)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・メイクアップ(2)> ブライダルメイクアップ・肌質別修整・まつ毛エクステンションなど国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑭ (1/12)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・ワークブック(6)じ> ネイル技術・日本髪・着付け技術と理論の応用力を高める。</p>			
⑦ (11/3)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・日本髪> 種類と各部の名称・装飾品と道具・技術手順など国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				⑮ (1/19)	<p>【定期試験】60点配分</p> <p><教科書①と②・定期試験> 4択問題を中心に行い、読解力と応用力を高めることを目的とする。</p>			
⑧ (11/10)	<p>【到達目標】</p> <p><教科書②・着付け技術と理論> 礼装・着物のいろいろ・一般的要領・帯と小物・各部名称・花嫁衣装など国家試験出題傾向に合わせて理解する。</p>				<p>【成績評価の方法と基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもった授業参加を心がけよう!!									

講義シラバス

科目名	化粧品化学Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名		岩淵太秀		
講師 プロフィール	札幌で美容師として従事し、美用商材の商社でも従事経験がある。 美容師国家試験における、美容実習、美容技術理論、化粧品化学の教員要件を持つ								
【授業を通じての到達目標】									
国家試験合格ラインに到達する知識を身につける。 国家試験の過去問題を理解し、解けるようになり、受験への準備を整える。									
【学習内容】									
化粧品の成り立ちから、成分・分類など、美容師として関わることが多い化粧品の基礎知識を学ぶ 国家試験受験に向け、過去問題や問題集を活用し、理解を深める									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
化粧品化学の教科書・筆記用具・ノート・授業で配布したプリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 シラバス確認 これからの流れについて確認し、国家試験に向けてどのようなことを学んでいくのかを理解する ○化粧品の物聖・挙動・処方・作用の原理について ○医薬品・医薬部外品・化粧品の比較(定義、目的、効果など)				⑨ (11/20)	【到達目標】 ○製品を安定させる配合原料 (防腐剤、殺菌剤、酸化防止剤、金属イオン封鎖剤、緩衝液、保湿剤、紫外線吸収剤、取れん剤)			
② (10/2)	【到達目標】 化粧品の成り立ちを学び、これから学んでいくことを整理できるようになる ○化粧品の成分について ○剤形と処方について ○水と親水性溶媒について (溶液、溶媒、溶質、水溶液の説明) (有機化合物と無機化合物、有機溶媒と無機溶媒について)				⑩ (11/27)	【到達目標】 ○サンケア製品 ・サンバーン、サンタン ・紫外線について(資料配布)			
③ (10/9)	【到達目標】 国家試験により出やすい問題に触れることで、模擬試験の対策ができるようになる ○界面活性剤の作用 ○界面活性剤とは(親水基、疎水基) ○界面活性剤の性質(ミセルの形成) ○可溶化作用と乳化作用と分散作用 ○界面活性剤の分類分け(プリント使用)				⑪ (12/4)	【到達目標】 ○パーマ剤 ・原理、仕組み、分類、注意			
④ (10/16)	【到達目標】 ○アルコールについて(エタノール、2-プロパノール、メタノール) ○油性原料(油脂の構造、分類・酸敗について) ○ロウ類について(構造と性質、種類)				⑫ (12/11)	【到達目標】 ○ヘアカラー ・種類、メカニズム、脱色剤、脱染剤			
⑤ (10/23)	【到達目標】 学祭準備日のため課題振替対応 ※授業なし				⑬ (12/18)	【到達目標】 ○シャンプー、リンス、トリートメントについて			
⑥ (10/30)	【到達目標】 ○炭化水素について ○その他の油性原料(高級脂肪酸、高級アルコール、脂肪酸エステル、シリコーン)				⑭ (1/15)	【到達目標】 試験対策授業			
⑦ (11/6)	【到達目標】 ○高分子化合物の種類と特性 ・天然高分子化合物 ・半合成高分子化合物 ・合成高分子化合物				⑮ (1/22)	【定期試験】60 模擬試験問題を解答			
⑧ (11/13)	【到達目標】 ○色材について ・発色 ・無機顔料 ・有機合成色素(タル色素) ・光輝性顔料 ○香料について				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	岩淵太秀				
講師 プロフィール	札幌で美容師として従事し、美用商材の商社でも従事経験がある。 美容師国家試験における、美容実習、美容技術理論、化粧品化学の教員要件を持つ								
【授業を通じての到達目標】									
プロの美容師として必要な、美容師力を学び身に付ける。 美容師国家試験合格に向けた準備を進め、受験生としてのマインドを整える									
【学習内容】									
社会人基礎力、美容師を学び、将来美容業界で活躍するための基本を身に付ける学びの実施。 国家試験合格に向けた、筆記、実技の対策実施									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 社会人基礎力を身に付ける ・テキスト使用				⑨ (11/20)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
② (10/2)	【到達目標】 実技、筆記勉強会				⑩ (11/27)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
③ (10/9)	【到達目標】 学園祭の決め事を通して、クラスのチームワークを高める ・クラスの話し合い(クラス会議の実施)				⑪ (12/4)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
④ (10/16)	【到達目標】 学園祭の決め事を通して、クラスのチームワークを高める ・クラスの話し合い(クラス会議の実施)				⑫ (12/11)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
⑤ (10/23)	【到達目標】 学祭準備日のため課題振替対応 ※授業なし				⑬ (12/18)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
⑥ (10/30)	【到達目標】 学園祭の振り返り 願書記入の準備、説明事項				⑭ (1/15)	【到達目標】 国家試験苦手科目練習会			
⑦ (11/6)	【到達目標】 国家試験受験に向けて心の準備をする時間 願書入力				⑮ (1/22)	【定期試験】60 国家試験実技(衛生)と筆記科目の筆記試験の実施			
⑧ (11/13)	【到達目標】 国家試験に向けて、実技、筆記の得意科目と苦手科目の理解を 深める				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~ 69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。									

講義シラバス

科目名	国家試験筆記対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	前木 那美子				
講師 プロフィール	2000年から専門学校に従事。国家試験センターへの配属を経て現在に至る。								
【授業を通じての到達目標】									
苦手課目を強化し、確実に合格点をとれる力を身につける									
【学習内容】									
解答・見直しを繰り返し、解説で強化して点数を上げていく									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
全科目教科書 過去問題									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/15)	【到達目標】 第50～52回MIX				⑨ (11/17)	【到達目標】 合同模試②			
② (9/29)	【到達目標】 課目別模試①				⑩ (11/24)	【到達目標】 模試解説			
③ (10/6)	課目別模試②				⑪ (12/1)	【到達目標】 課目別模試③(合同模試で判定)			
④ (10/13)	【到達目標】 行事振替				⑫ (12/8)	【到達目標】 合同模試③			
⑤ (10/20)	【到達目標】 旧合同模試MIX①				⑬ (1/12)	【到達目標】 模試解説			
⑥ (10/27)	【到達目標】 合同模試①				⑭ (1/19)	【到達目標】 合同模試④			
⑦ (11/3)	【到達目標】 模試解説				⑮ (8/25)	【定期試験】60 合同模試MIX(60問)			
⑧ (11/10)	【到達目標】 課目別模試②				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅳ(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	北俣 京子、稲川 千絵				
講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年よりベルエポック美容専門学校講師として勤務								
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準の作品を時間内で完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
オンベース 1/2オフベース シンメトリーを正確に収める技術を身につける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・タオル・雑巾・授業で配布したプリント・筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 基本通り1本1本を正確に巻くことができる 全頭 21分				⑨ (11/20)	【到達目標】 国家試験衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
② (10/2)	【到達目標】 姿勢を含め動作を早くすることができる 全頭 21分				⑩ (11/27)	【到達目標】 国家試験衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
③ (10/9)	【到達目標】 オンベース オフベース 正確性を強化する 全頭20分				⑪ (12/4)	【到達目標】 国家試験衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
④ (10/16)	【到達目標】 左右のシンメトリーの正確性強化する 全頭 20分				⑫ (12/11)	【到達目標】 国家試験衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方する 全頭18分			
⑤ (10/22)	【到達目標】 学祭準備日のため 10/23(金)→10/22(木)へ日程変更 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方を正確にする 全頭 20分				⑬ (12/18)	【到達目標】 国家試験衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方する 全頭 18分			
⑥ (10/30)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する 全頭 20分				⑭ (1/15)	【到達目標】 国家試験合格基準 全頭 18分			
⑦ (11/6)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する シンメトリーラウンド面ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				⑮ (1/22)	【到達目標】 衛生面技術国家試験合格基準 時間内完成 20分			
⑧ (11/13)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する シンメトリーラウンド面 ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅲ(オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	稲川千絵、岩淵太秀				
講師 プロフィール	市内大手の美容室に勤務後、円山の個人店にて勤務をしながら2004年から 学校で国家試験科目第二課題を専門に学生をサポートしています。								本
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準の作品を時間内で完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。 国家試験実技試験合格に向けて減点されない7段構成をバランス良く作れるようになる。									
【学習内容】									
正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、 7段と縦3等分のバランスの良い額を確認作業をしながら、合格基準に近付けていく									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・雑巾(タオル2つ折り、縫っていないもの)					毎週宿題あります				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/16)	【到達目標】 6段目にメイボールカールに収める 4・5・6段目の縦幅のバランスの復習				⑨ (11/18)	【到達目標】 額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) 確認作業 7段と縦1/3のバランス右、左フロントサイドの 正確なウェーブ幅が作れるようになる			
② (9/30)	【到達目標】 右リフトカールに強化 右リフトカールのスピードアップ 4・5・6段目の縦幅のバランスの復習				⑩ (11/25)	【到達目標】 額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) 確認作業 7段と縦1/3のバランス右、左フロントサイドの 正確なウェーブ幅が作れるようになる			
③ (10/7)	【到達目標】 左リフトカールに強化 左リフトカールのスピードアップ 4・5・6段目の縦幅のバランスの復習				⑪ (12/2)	【到達目標】 額の強化(正しいウェーブ幅)7段と縦1/3のバランス 目線、コームの使い方、ピンの持ち方、広げ方の強化 正確な額に全てのカールを収められるようになる			
④ (10/14)	【到達目標】 左右リフトカールの復習 正しい姿勢、目線、コームの持ち方を習得できるようになる				⑫ (12/9)	【到達目標】 額の強化(正しいウェーブ幅)7段と縦1/3のバランス 目線、コームの使い方、ピンの持ち方、広げ方の強化 正確な額に全てのカールを収められるようになる			
⑤ (10/21)	【到達目標】 馬蹄形の位置、奥行を正確に作れるようになって2段目～3段目 をバランスよく作れるようになる (全頭24分)				⑬ (12/16)	【到達目標】 7段、縦1/3のバランス強化し、 正確な額に全てのカールをバランスよく収められるようになる (全頭19分)			
⑥ (10/28)	【到達目標】 苦手強化 確認作業、正しい姿勢、目線、コームの持ち方を習得できるよう になる (全頭23分)				⑭ (1/13)	【到達目標】 額の強化(正しいウェーブ幅)7段と縦1/3のバランス額の強化 (正しいウェーブ幅) 正確な額に全てのカールを収めるようになる			
⑦ (11/4)	【到達目標】 国家試験採点項目の確認 合格基準を理解できるようになる (全頭23分)				⑮ (1/20)	【定期試験】60 国家試験に減点されない作品を19分で作れるようになる			
⑧ (11/11)	【到達目標】 衛生の動作確認 7段と縦1/3のバランス 右、左フロントサイドの 正確なウェーブ幅が作れるようになる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～ 69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ(カット)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名		村上 敬子、中山 里美		
講師 プロフィール	札幌の美容学校を卒業後、関東のサロンでカラーリストとして勤務。 その後札幌のサロンで経験を積んだのち、ベルエポックに勤務。主に国家試験科目に携わる。 学生時代はワインディングコンテストで受賞経験あり。学生技術大会ではグラデーションカットを担当。								
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験の合格基準でレイヤーカットが完成できるようになる。 衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
国家試験試験の採点内容を理解し、各自の課題を自覚して問題解決出来る力を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式・国家試験カット用コム・国家試験用カットウィッグ 筆記用具・油性ネームペン・絆創膏・タオル カットテキスト(開講後配布)・ウェットティッシュ・汚物入れ					各自の弱点トレーニング。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/16)	【到達目標】衛生に関わるルールを理解出来るようになる 3S定期試験の振り返りと今後の課題の確認。第1課題時の衛生について学ぶ。準備物の説明など。				⑨ (11/18)	【到達目標】第2ブロックのレベルアップ 模擬試験前衛生練習。 第2ブロックの強化。			
② (9/30)	【到達目標】全頭を27分間でカットできるようになる 衛生に関するプリントを配布し、説明しながら流れを覚える。 各セクション毎に注意点を説明				⑩ (11/25)	【到達目標】ガイドラインのレベルアップ 模擬試験前衛生練習。 サイド～バックのガイドラインの強化。 お互いのカットしているところを見学して学ぶ。			
③ (10/7)	【到達目標】全頭を25分間でカットできるようになる 7分間の説明。 バックとサイドの繋がりを理解する。 1分の毛払いの練習。				⑪ (12/2)	【到達目標】全頭を18分間でカットできるようになる 模擬試験前衛生練習。 第3ブロックの左右バランスを強化。			
④ (10/14)	【到達目標】全頭を23分間でカットできるようになる 7分間の練習。 本番のアナウンスを聞いて時間を意識する。 第2ブロックの強化。				⑫ (12/9)	【到達目標】全頭を17分間でカットできるようになる 模擬試験前衛生練習。 バックのスライス線の強化。 正中線の意識。			
⑤ (10/21)	【到達目標】全頭を21分間でカットできるようになる バックの強化。 衛生を意識しながら全頭かつと21分間				⑬ (12/16)	【到達目標】全頭を20分(チェックカット込)でカットできるようになる 模擬試験前衛生練習。 定期試験の説明。 フロントガイドの強化。 合格できる作品を時間内に完成させる。			
⑥ (10/28)	【到達目標】全頭を20分間でカットできるようになる フロントの強化。 チェックカットの確認。 過去の不合格作品を見て減点基準について学ぶ。				⑭ (1/13)	【到達目標】合格基準の作品を完成できるようになる 国家試験本番までのウィッグ使用計画の確認。 時間を意識しながら、作品の完成度を上げる。 自分の弱点トレーニング			
⑦ (11/4)	【到達目標】カットの採点項目を理解できるようになる 審査箇所の説明。 模擬試験の採点と本番の採点の違いを理解する。 試験センターのホームページの説明。				⑮ (1/20)	【定期試験】60 全頭カット20分時間内完成 国家試験の採点項目に準じて採点する。 レイヤーの繋がりに段差はないか。 ヘムラインに段差がないか。 左右バランスは性格か。 長さは正しく測れているか。			
⑧ (11/11)	【到達目標】全頭カットを20分間以内に完成させるようになる 模擬試験前に衛生について確認。 7分間、1分間の細かい注意点の説明。 減点が入りやすい箇所を認識する。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻、忘れ物、身なりの自己管理。 国家試験に向けて準備していく									

講義シラバス

科目名	国家試験実技対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名		中山 里美		
講師 プロフィール	札幌の美容学校を卒業後、関東のサロンでカラーリストとして勤務。その後札幌のサロンで経験を積んだのち、ベルエポックに勤務。主に国家試験科目に携わる。学生時代はワインディングコンテストで受賞経験あり。学生技術大会ではグラデーションカットを担当。								
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準の作品を時間内で完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
国家試験の採点項目を理解し、各自の課題を自覚して問題解決できる力を身につける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式・国家試験カット用コーム・国家試験用カットウィッグ 筆記用具・油性ネームペン・絆創膏・タオル					各自弱点トレーニング				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】				⑨ (11/17)	【到達目標】全頭を20分以内に完成できるようになる 模擬試験の振り返り。 時間内完成時に残り毛がないように意識してカットする。			
② (/)	【到達目標】				⑩ (11/24)	【到達目標】全頭を19分以内に完成できるようになる 模試の振り返り。 ウィッグ水平の徹底。 両サイドのスライス線の確認、強化。			
③ (/)	【到達目標】				⑪ (12/2)	【到達目標】全頭を18分で完成できるようになる 模試の振り返り。 自分の原点箇所を強化。弱点トレーニング			
④ (/)	【到達目標】				⑫ (12/8)	【到達目標】全頭18分以内完成 模試の振り返り。 初心に戻りブロッキング、チェックカットの重要性を確認する。 長さの計測の正確性、切り残しの原因を考える			
⑤ (/)	【到達目標】				⑬ (12/15)	【到達目標】全頭20分チェックカット込みで完成させる 模試の振り返り。 定期試験の説明。 本番を意識して衛生とカットのトレーニング。			
⑥ (/)	【到達目標】				⑭ (1/12)	【到達目標】合格基準の作品を完成させる 再度注意事項の確認。 模擬試験の減点箇所を自覚して本番を意識してトレーニング。			
⑦ (/)	【到達目標】				⑮ (1/19)	【定期試験】60 全頭カット20分時間内完成 国家試験の採点項目に準じてさいてんする。			
⑧ (11/10)	【到達目標】全頭カット20分以内に完成できるようになる 模擬試験前衛生練習。 模試の動き確認。 準備物の最終チェック。 模試に向けてスピードアップ。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻、忘れ物、身なりの自己管理。 国家試験に向けて準備していく									

講義シラバス

科目名	美容総合(サロスタイル)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	葛西 雄紀、蓑島 竜二					
講師 プロフィール	葛西 道内でカラーデザインの講習会活動経験と道内外フォトコンテスト受賞歴多数あり。2018北海道ヘアドレッシングアワードフューチャースター部門 準グランプリ獲得 蓑島 社内技術指導担当、主にカットを指導しています。ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加し受賞歴多数。									
【授業を通じての到達目標】										
・似合わせを意識した提案と技術を身に付けることができる ・質感や毛量調節を意識した学びを理解し、習得・再現ができるようになる。 ・フィニッシュワークを学び、撮影、発信に結びつく一連の流れを行うことができる。										
【学習内容】										
サロンワークでのヘアスタイルをイメージし、デザインの作り方やカラーの効果的な入れ方を考えられるようになる。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
カット・カラーに必要な道具 筆記用具、ノート 使用ウィッグ(ip200 5体使用)					必要な情報と知識を事前に考えておく					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (9/14)	【到達目標】				⑨ (11/16)	【到達目標】				
	※学生技術大会見学のため振替 授業なし					マッシュの考え方、切り方、仕上げまでの工程を理解できるようになる カット ip200 2				
② (9/28)	【到達目標】				⑩ (11/30)	【到達目標】				
	講師紹介・授業紹介・授業のルール・小テスト・評価基準の確認 シラバスの確認 ブロー、スタイリングによる仕上がりの変化の違いを理解できるようになる カット ip200 1					スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip200 2				
③ (10/5)	【到達目標】				⑪ (12/7)	【到達目標】				
	グラデーションボブの考え方、切り方を理解できるようになる カット ip200 1					ショートボブの考え方、切り方、仕上げまでの工程を理解できるようになる カット ip200 3				
④ (10/12)	【到達目標】				⑫ (12/14)	【到達目標】				
	グラデーションボブの仕上げまでの工程を理解できるようになる カット ip200 1					スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip200 2				
⑤ (10/19)	【到達目標】				⑬ (12/21)	【到達目標】				
	スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip200 1					イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー ip200 5				
⑥ (10/26)	【到達目標】				⑭ (1/18)	【到達目標】				
	スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip200 1					イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー ip200 5				
⑦ (11/2)	【到達目標】				⑮ (1/25)	【定期試験】60				
	イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー ip200 2					定期試験 時間内でのカットの正確さ、スタイリングの綺麗さ、デザイン性があるか、 テーマに沿ったヘアスタイルを考えカット～スタイリングをする カット ip200 5				
⑧ (11/9)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】					
	中間テスト 習ったことを踏まえてカット～スタイリングをする カット ip200 2				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は 事前に授業内容を把握しておく										
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。										

講義シラバス

科目名	美容総合(サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年	講師名	大島侑也 東隼弥 伊藤 元気				
講師 プロフィール	ACA メンズに大人気のニュアンスパーマ・フェザーパーマ・シャドウパーマなど、最新パーマ技術を元に理想のスタイルを提供。								
	sica 札幌のヘアデザインを作るsica。開放的なサロンの中で作る自然体でおしゃれなスタイルを提供。								
	PD 過去にベル講師経験あり、社内でヘアアレンジの講習をしています。								
【授業を通じての到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤選定、毛髪診断ができるようになる。 ・仕上がりをイメージした作業ができるようになる。 ・アシスタントを意識した動きを身に付け、就職後に有利なスタートを切る為の知識と技術を身に付ける 									
【学習内容】 波巻きツイストスパイラルパーマ坂巻ゴム掛けなどを駆使したメンズスタイルならではのパーマを習得しパーマ液の選定をしながら実際にパーマをかける									
ACA 波巻きツイストスパイラルパーマ坂巻ゴム掛けなどを駆使したメンズスタイルならではのパーマを習得。パーマ液の選定をしながら実際にパーマをあててみる									
sica パーマを通してサロンワークで即戦力になる技術と知識の習得。アシスタントとしての考え方、技術を身に付ける。									
PD 即戦力となるシャンプー技術やカラーリストになってからのヘアセット&ヘアアレンジの技術を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ACA、sica：パーマ(WD)道具一式、カット道具一式 ACA、sica ip200 2台ずつ PD：サロンワーク道具一式 ip200 1台					授業内で行った技術を次回からスムーズに巻けるようウィッグで練習する				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/14) ACA	【到達目標】 ※学生技術大会見学のため振替授業なし				⑨ (11/16) sica	【到達目標】 ボブスタイルの事前カット仕込み ウィッグ②			
② (9/28) ACA	【到達目標】モデルウィッグ作成 パーマモデルウィッグ作成「カット」				⑩ (11/30) sica	【到達目標】 ボブスタイルにパーマをかけてみよう ウィッグ②			
③ (10/5) ACA	【到達目標】ペーパーの巻き込みゴム掛けを習得 波巻&ツイストスパイラルパーマ「ツイスパ」				⑪ (12/7) PD	【到達目標】 シャンプー相モデル2回ずつ、ドライ、ブローの技術			
④ (10/12) ACA	【到達目標】坂巻ゴム掛けを習得 波巻&ツイストスパイラルパーマ「波巻き」				⑫ (12/14) PD	【到達目標】 シャンプー相モデル2回ずつ、ドライ、ブロー、ヘアセット			
⑤ (10/19) ACA	【到達目標】液付けロッドアウトまでを実戦 実際にパーマをかけてみよう！				⑬ (12/21) PD	【到達目標】 シャンプー相モデル2回ずつ、ドライ、ブロー、ヘアセット、ヘアアレンジ			
⑥ (10/26) sica	【到達目標】 自己紹介、サロンの紹介 パーマの薬剤からロッド選定までの基本知識を学ぶ				⑭ (1/18) PD	【到達目標】 シャンプー相モデル2回ずつ、ドライ、ブロー、ヘアセット、ヘアアレンジ、撮影			
⑦ (11/2) sica	【到達目標】 レイヤーカット仕込み ウィッグ① スパイラルパーマの練習とカールの違いについて学ぶ				⑮ (1/25) PD	【定期試験】60 シャンプー、ドライ、ヘアセット、ヘアアレンジ、撮影			
⑧ (11/9) sica	【到達目標】 レイヤーカット実際にパーマをあててみる ウィッグ①				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容総合(トータルヘアメイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名	本田 麻美			
講師 プロフィール	美容部員として約10年勤務し、その後ヘアメイクサロンに5年勤務。現在はフリーランスのヘアメイクとして活動中。								
【授業を通じての到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・スタイルに合わせたコンセプトの立案ができるようになる。 ・ヘア、メイクのトータルバランスを意識した再現ができるようになる。 ・周りへの配慮を最優先に考え、個人ではなくチームで仕事をすることの重要性を学ぶ。 									
【学習内容】									
色々なヘアメイクが出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアセット道具、メイク道具、ティッシュ、コットン、綿棒、タオル、ケープ									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/14)	※学生技術大会見学のため振替授業なし 【到達目標】				⑨ (11/16)	【到達目標】舞台でのメイクを理解する 舞台メイクが出来るようになる 4点			
② (9/28)	【到達目標】秋メイクが表現できるようになる シラバスの確認 秋メイクができるようになる 2点				⑩ (11/30)	【到達目標】写真で見た物を同じように表現できるようになる 雑誌や画像のヘアメイクができるようになる 3点			
③ (10/5)	【到達目標】モデルの希望を聞いて表現できるようになる モデルの希望に合わせたメイクができるようになる 3点				⑪ (12/7)	【到達目標】写真で見た物を同じように表現できるようになる 雑誌や画像のヘアメイクができるようになる 3点			
④ (10/12)	【到達目標】モデルの希望を聞いて表現できるようになる モデルの希望に合わせたメイクができるようになる 3点				⑫ (12/14)	【到達目標】和装のヘアメイクができるようになる 成人式ヘアメイクができるようになる 3点			
⑤ (10/19)	【到達目標】イベントのメイクができるようになる ハロウィンメイクができるようになる 3点				⑬ (12/21)	【到達目標】テストに向けヘアメイク テスト対策 3点			
⑥ (10/26)	【到達目標】色々なカラーを使用したメイクを相モデルで表現できるようになる 色々なカラーを使用したメイクができるようになる				⑭ (1/18)	【到達目標】テストに向けヘアメイク テスト対策 3点			
⑦ (11/2)	【到達目標】現代のメイク以外のメイクもできるようになる 濃いメイクができるようになる 3点				⑮ (1/25)	【定期試験】60 定期テスト テーマに沿ったヘアメイクを相モデルで完成させる			
⑧ (11/9)	【到達目標】舞台でのメイクを理解する 舞台メイクができるようになる 3点				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物は小テストからマイナス1点					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	美容総合(撮影ヘアメイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	2年		講師名	蓮川 まゆ			
講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活躍の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。								
【授業を通じての到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ライティングやアングル、構図等を意識したヘアメイクのテクニックを学び、再現できるようになる。 ・撮影中のお直しに必要な技術やマインドを身に付ける ・自分で考えたデザインを落とし込み撮影、発信ができるようになる 									
【学習内容】									
撮影ヘアメイクのテクニックを学び、イメージ通りに表現出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/14)	【到達目標】				⑨ (11/16)	【到達目標】3			
	※学生技術大会見学のため振替授業なし					【年代】ヘアメイク 相モデル			
② (9/28)	【到達目標】3				⑩ (11/30)	【到達目標】3			
	【カジュアル】ヘアメイク 相モデル					【韓国】ヘアメイク 相モデル			
③ (10/5)	【到達目標】3				⑪ (12/7)	【到達目標】3			
	【フェミニン】ヘアメイク 相モデル					【カラー】ヘアメイク 相モデル			
④ (10/12)	【到達目標】3				⑫ (12/14)	【到達目標】3			
	【ストリート】ヘアメイク 相モデル					【質感】ヘアメイク 相モデル			
⑤ (10/19)	【到達目標】3				⑬ (12/21)	【到達目標】3			
	模写ヘアメイク 相モデル					【形】ヘアメイク 相モデル			
⑥ (10/26)	【到達目標】3				⑭ (1/18)	【到達目標】3			
	要望に応えるヘアメイク 相モデル					試験のコンセプトシート作成、練習			
⑦ (11/2)	【到達目標】7				⑮ (1/25)	【定期試験】60			
	テーマに合わせたヘアメイク 相モデル (中間チェック)					定期試験			
⑧ (11/9)	【到達目標】3				【成績評価の方法と基準】				
	【雑誌】ヘアメイク 相モデル								
【履修に当たっての心構え・留意点】					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				